

「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス」 構成銘柄に3年連続選定されました

東急不動産ホールディングス株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:金指潔)はこのたび、社会的責任投資(SRI)※の株価指標として世界的に認知度の高い「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・アジア・パシフィック・インデックス(DJSI Asia Pacific)」の構成銘柄に選定されました。

東急不動産株式会社として、2012年・2013年と連続選定されておりましたが、2013年10月の東急不動産ホールディングス株式会社設立後としては初の選定となりました。

DJSIは、米国のダウ・ジョーンズ(Dow Jones)社と、スイスのSRIに関する調査専門会社であるRobeco SAM社が共同開発した株価指標で、経済・環境・社会の3つの側面から世界各国の大手企業の持続可能性(サステナビリティ)を評価し、総合的に優れた企業を選定するものです。

今回の選定にあたっては、環境やコンプライアンスなどの経営課題への当社グループの取り組みが、将来にわたり持続的成長が期待できる企業としての評価をいただいた結果だと考えています。

今後も、事業を通じて社会課題に取り組むことにより、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

MEMBER OF
Dow Jones
Sustainability Indices
In Collaboration with RobecoSAM 

東急不動産ホールディングスのCSRについて

<http://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/csr/>

※ 社会的責任投資(SRI)とは、個人や機関投資家が投資を行う際に、従来の財務分析による情報に加え、社会・環境・コーポレートガバナンスといった企業の社会的責任(CSR)も投資基準に加えて行う投資手法のことです。